

横須賀市立中央図書館郷土資料室・所蔵資料展示会一覧

平成 30 年度（2018 年度）～令和 3 年度（2021 年度）

1 平成 30 年度『市史資料室所蔵資料ミニ展示会』

市史資料室では文字資料や写真・画像などの二次元資料のほかにも軍艦の進水式や各種式典等の記念品あるいは日章旗や模型、土産物、生活用品など、様々な「モノ」を保管しています。

これらの資料は、直接、『新横須賀市史』で取り上げることは少なかったのですが、当時の市民や軍人、軍港都市の様子を肉付けするものとして大変興味深いものです。そのため「モノ」に焦点をあてたミニ展示会を開催しました。

- 開催期間は、平成 31 年（2019 年）2 月 7 日から 3 月 27 日まで
- 展示品は、旭日旗（小旗）、横須賀市合併記念木盃、軍艦進水式記念酒盃、錨印入りの木箱と椀、奉公袋、軍隊手帳、特殊潜航艇 50 分の 1 模型、戦艦「陸奥」の遺品、横須賀みやげ（盆・ハンカチ）、さいか屋の包装紙とチラシ、貧乏徳利など 50 点。ほかに軍艦進水式記念絵はがきなどを参考展示



「翔鶴」進水式記念文鎮（ガラス製）

2 「市民が所蔵していた歴代天皇関連資料」展

中央図書館では、改元に関連した図書コーナー“新元号が「令和」に決まりました—これまでの平成の皇室について振り返ってみましょう”を開設しました。この企画に賛同して市史資料室では明治・大正・昭和の歴代天皇に関連した所蔵資料のミニ展示会を開催しました。

- 開催期間は、平成 31 年（2019 年）4 月 27 日から令和元年 5 月 26 日まで
- 展示品は、明治天皇御大喪関連写真・絵はがき、大正天皇御大礼記念絵はがき、裕仁皇太子立太子礼記念絵はがき、昭和天皇御大礼記念絵はがき、昭和天皇の御名御璽などで、絵はがきを中心に計 35 点

3 「横須賀で建造された航空母艦」展

太平洋戦争末期に建造された航空母艦「信濃」をはじめ、横須賀海軍工廠ではいくつかの航空母艦を建造あるいは改造してきました。その中で通称「㊦（まるさん）計画」*として建造された第三号艦（航空母艦翔鶴）の建造アルバムが残されています。この展示会は翔鶴建造アルバムを中心とした、横須賀海軍工廠で建造された航空母艦に関する内容です。

また、中央図書館では本展示会と連動して企画展「平和な令和のために」を開催しました。

* 「㊦計画」＝第三次海軍軍備補充計画。第一号艦＝戦艦大和、第二号艦＝同武蔵、第四号艦＝航空母艦瑞鶴

- 開催期間は、令和元年（2019 年）8 月 8 日から～9 月 1 日まで
- 展示品は、航空母艦「翔鶴」建造アルバム（写真のすべてをスライドショーで上映）、翔鶴・飛龍等の進水記念絵はがき、翔鶴の進水記念文鎮、翔鶴等の命名式拝艦券、各航空母艦の参考画像など、計 26 点

4 「戦後の横須賀」展

中央図書館の企画展「戦争とは、平和とは・・・」に連動して、郷土資料室では所蔵資料ミニ展示会「戦後の横須賀」展を開催しました。

この展示会は、『占領下の横須賀—連合軍の上陸とその時代』に掲載した米国立公文書館所蔵写真を中心にした写真パネル展です。敗戦、占領により軍港都市が崩壊し、まちや人々の生活は激変しました。このとき横須賀にいた人々はこの時代の切り替わりをどのように切り抜けたのでしょうか。戦争とは何か、平和とは何かを考えることもなかった時代からの脱却を人々の表情から探る内容としました。

- 開催期間は、令和 2 年（2020 年）7 月 23 日から 8 月 30 日まで
- 展示品は、米国立公文書館所蔵写真 14 枚ほか（パネル計 8 枚）



S20.9.7、鎮守府司令部が移転した三笠会館前
（米国立公文書館蔵）

5 新発見の「浦賀奉行所絵図」の公開展示

市内永島家所蔵資料の中に、これまで知られていなかった「浦賀奉行所絵図」を2枚確認したため、所蔵者の協力を得て、浦賀奉行所開所300周年の記念に特別公開しました。

2枚の絵図は、奉行所の敷地や間取りなどから近い時期のものですが、1枚の絵図には「通詞部屋」の記載があり、異国船に対するオランダ通詞を置いた天保14年（1843年）2月以降に作成されたものであることがわかります。

- 開催場所は、浦賀コミュニティセンター分館「郷土資料館」
- 開催期間は、令和2年（2020年）10月24日から11月30日まで
- 展示品は、浦賀奉行所絵図（平面図）2枚

6 郷土資料室ミニ展示会「野村吉三郎展」

横須賀鎮守府司令長官（2回）、海軍大将、外務大臣等を歴任し、昭和16年に駐米特命全権大使として日米開戦回避の交渉を続けた野村吉三郎に関するミニ展示会を開催しました。また、関連書籍の展示も行いました。

- 開催期間は、令和2年（2020年）12月5日から12月27日まで
- 展示品は、本市に寄贈された資料の中から「海軍大将通常礼装」、「1941年6月4日にニューヨークで開催された野村吉三郎祝賀会の写真」、「パリ講和会議全権委員随員記念品（金杯）」、「海軍時代の各種辞令書」、「御名御璽のある外務大臣任命状」など18点

7 郷土資料室ミニ展示会「市役所庁舎の変遷」展

- 開催期間は、令和3年（2021年）2月9日から2月24日まで
- 展示品は、各時代の庁舎の写真又は絵はがき6点、戦前・戦後の新旧「横須賀市歌」の歌詞と譜面

8 郷土資料室ミニ展示会「中央図書館所蔵の絵図」

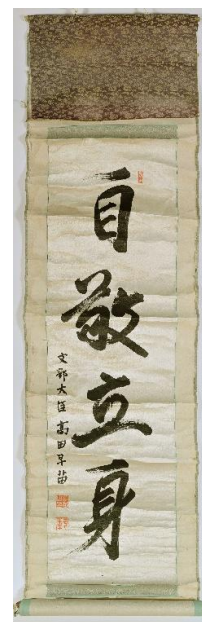
中央図書館が所蔵する江戸から明治にかけての絵図を紹介しました。また、前島密に関する新資料もあわせて紹介しました。

- 開催期間は、令和3年（2021年）6月10日から7月18日まで
- 展示品は、「相模国三浦郡大矢部村略絵図」、浦賀に関する「湊奥水地之内埋立目論見彩色絵図」、「異国船絵図」、ARSENAL D'IOKOSKAと題された「慶応元年横須賀製鉄所設計地縄張図」、「横須賀港一覧図」、「佐波一郎造船学ノート」、「掛軸」（高田早苗書「自敬立身」・大正4年10月付の前島密の裏書／この裏書から前島が文部大臣の高田に書を依頼し、西浦尋常高等小学校：現大楠小学校に寄贈したことがわかる）などで、令和2年度に作成した複製資料を中心に14点

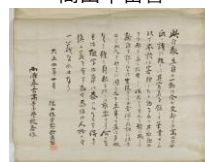
9 郷土資料室ミニ展示会「横須賀生まれの戦艦展」

11月28日まで公開中のオンライン企画展「横須賀で生まれた軍艦（戦艦編）」に連動した特別展示です。

- 開催期間は、令和3年（2021年）8月7日から9月14日まで
- 展示品は、オンライン企画展で公開中の絵はがきの他、「陸奥」の写真等、横須賀で建造された軍艦ゆかりの資料



高田早苗書



前島密の裏書

※ 開催場所は、横須賀市立中央図書館1階ロビー（“5”を除く）